

真理子先生の

# 女性のカタ

## 月経不順



伊藤 真理子

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

基礎体温の測定、始めてくださいましたか？

前回のおさらいです

月経の周期が25〜39日の期間に収まっていればまずは正常と判断されますが、その範囲内でも周期が不規則な方もいらっしゃるはず。でも基礎体温をキチンと測っていれば低温期から高温期に替わる時期が排卵日だと

分かり、次の月経の予測が簡単になることは前回お話ししましたね。

無排卵出血と遅発月経

出血が毎月あって一見すると順調なようでありながら肝心の排卵がないという場合は「無排卵出血」が疑われます。また18歳までに一度も月経がなければ「遅発月経」が疑われます。これらに該当すると思われるお嬢様をお持ちの御母様、一緒に婦人科をお訪ねになることをお勧めします。

原因の多くはストレス

無排卵出血や遅発月経

の原因は様々です。急激なダイエットによる体重減少やリバウンドが原因の時もありますし、環境の変化が原因の時もあります。例えば受験勉強中は全く排卵がなかったのに大学生になった途端に月経が順調に来たというケースもあります。



このようにストレスは女性にとって大敵なのです。そして明らかに女性ホルモンに関係する場合はその治療が必要

になります。

治療薬にはピルも

子宮は出血することで成長する面もあります。排卵や月経がおきにくいという人にはホルモン剤を使って人工的に子宮出血を起こさせる治療法も有効です。本来は避妊薬であるピルを月経不順の治療薬として用いる場合もあります。

誤解なからず

その場合、くれぐれも「うちの娘に避妊薬を飲ませるなんてとんでもない」などと驚かないで下さいね。